

### アンネのバラ 地域に配布

#### 福山・幸千中平和願い栽培



福山市御幸町の幸千中の生徒が、学校で育てた「アンネのバラ」の鉢植えの配布を始めた。今年、福山市の小学校や交流館、同中の生徒は年々増えている。アンネのバラは、平和を願う思いを込めて育てられている。配布されたアンネのバラは、各校で大切に育てられ、地域に配布されている。アンネのバラの配布は、平和を願う思いを伝えるための活動の一環として行われている。

大河源館長（手前）にアンネのバラを贈る岡崎さん（向左）

⑩に鉢植えのアンネのバラを贈る岡崎さん（向左）

アンネのバラは、アンネの日記の作者アンネ・フランクをしのびながら育てられている。今年、福山市の小学校や交流館、同中の生徒は年々増えている。アンネのバラは、平和を願う思いを込めて育てられている。配布されたアンネのバラは、各校で大切に育てられ、地域に配布されている。アンネのバラの配布は、平和を願う思いを伝えるための活動の一環として行われている。

### アンネのバラ広めよう

#### 福山 幸千中生 近隣施設に苗寄贈

福山市立幸千中（同）で育てた苗1本を地元市御幸町中津原の生の御幸交流館の花壇に徒たちが、ナチス・ド



御幸交流館の花壇にアンネのバラを植える岡崎さん

イツによるユダヤ人虐殺（ホロコースト）の犠牲となったアンネ・フランクにちなみ名付けられた「アンネのバラ」を近隣施設に寄贈する取り組みを始め、28日には自分たち

40本を接ぎ木し、文化壇で栽培。今月から地元小学校など4施設にも贈ることとした。28日は、生徒4人が御幸交流館に行き、アンネやバラについて紹介する自作

パンフレットとともにバラ1本を贈った。文化委員長岡崎陽太さん（15）が館正面の花壇に植え、大河源館長は「丁寧に育て、生

徒の思いを紹介したい」と感謝した。来年度も記念館のバラ200本を接ぎ木して活動を続ける。岡崎さんは「平和を願った

オットーさんの思いを伝えたい。バラを見て平和について考えたり、記念館を訪れたりしてほしい」と話した。（上田勇輝）

## 岡山・備後

### 幸千中学生が接ぎ木、地域に贈呈「アンネ・フランクの形見のバラ」



市立幸千中学校御幸町の生徒アンネ・フランクの形見のバラを接ぎ木して育て、苗を地域に贈呈する活動が始まった。先月28日は、文化委員長岡崎陽太さん（15）が館正面の花壇に植え、大河源館長は「丁寧に育て、生徒の思いを紹介したい」と感謝した。来年度も記念館のバラ200本を接ぎ木して活動を続ける。岡崎さんは「平和を願ったオットーさんの思いを伝えたい。バラを見て平和について考えたり、記念館を訪れたりしてほしい」と話した。（上田勇輝）



このバラは、アンネの日記で知られる平和を願ったアンネ・フランクの形見のバラ。アンネの日記を基に制作されたアンネの形見のバラ。アンネの日記を基に制作されたアンネの形見のバラ。アンネの日記を基に制作されたアンネの形見のバラ。